

# 公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2023年12月27日（水）16時30分～18時30分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：井田茂，野村英子，百瀬宗武，勝川行雄，町田真美，鈴木竜二，酒向重行，安東正樹，津村耕司，廿日出文洋，大朝由美子，金田英宏，吉田直紀，楠瀬正昭，野澤恵，石川遼子，山村一誠

出席監事：公益社団法人 日本天文学会松尾宏，山田亨

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が17名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 井田会長、野村副会長、百瀬副会長、松尾監事、山田監事が署名人となることを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2023年9月19日）の理事会議事録が報告され、承認された。

## II. 議題

本理事会の各議題は、井田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 新規加入者の承認（資料3、町田）

2023年9月12日～2023年12月21日までに正会員入会申請76名、準会員入会申請11名の申請があり、賛成多数で承認された。なお、大学統合による大学名の変更に関して確認があり、学生の場合は卒業まで入学した大学名となることを確認した。

II-2. 公益社団法人日本天文学会2024年度事業計画の承認（資料4、勝川）

2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）事業計画書が提示され、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-3. 公益社団法人日本天文学会2024年度予算案の承認（資料5、鈴木）

2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）予算案が提示され、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-4. ネットワーク委員会委員長の変更他（資料6、勝川）

現委員長の生田ちさと氏から勝川庶務理事へ委員長の交代が提案され、賛成多数で承認された。

II-5. 衛星設計コンテスト推進委員の変更について（資料7、勝川）

衛星設計コンテストの審査委員が田原譲氏（名古屋大学名誉教授）から北本俊二氏（立教大学教授）へ交代することに伴い、現委員の田原氏から北本氏への交代が提案され、賛成多数で承認された。

## III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料3、町田）

2023年9月12日～2023年12月21日までに正会員退会2名、準会員退会4名があったことが報告された。

### III-2. 年会実行委員会からの報告（資料 8、廿日出、吉田、山村）

2024 年春季年会（東京大学）は、3 月 11、12 日は企画セッション（3 件）を中心とした現地対面開催（オンライン配信有）、13-15 日は完全オンラインの通常セッションで行うための準備が進んでいることが報告された。会員全体集会（11 日）の際にオンラインにて授賞式を行い、受賞記念講演（12 日、現地対面開催）の前に、研究に関連する賞（林賞、研究奨励賞、欧文報告賞）の授賞式を再度行うことが報告された。ジュニアセッションは 12 日（火）に現地開催するが、60 件の発表申し込みと約 260 名弱の現地参加希望があることも併せて報告された。

### III-3. 日本天文学会のワーキンググループについて（資料 9、勝川）

「シリーズ現代の天文学」英語版及び第 2 版ワーキンググループ、「日本天文学白書」準備ワーキンググループ、年会ハイブリッド開催タスクフォースの 3 件のグループが活動していることが報告された。理事からワーキンググループをホームページで公開していない理由を問われたが、準備的なグループの活動であるため一律に公開することは難しい旨の返答があった。各ワーキンググループの希望に沿って対応することが確認された。

### III-4. 第 8 期日本天文学会代議員選挙 開票結果報告（資料 10、勝川）

公益社団法人日本天文学会第 8 期代議員（任期 2024 年度—2027 年度）の選挙の開票を 2023 年 12 月 13 日に行い、定数 24 名の当選者を得票順に決定し、2 名を補欠として順位と共に定めたことが報告された。理事より、代議員の多選に関して問題提起がされたため、代議員に多選に関しての意見を伺うこととなった。

### III-5. 天文教育委員会からの報告（資料 11、大朝）

2024 年春季年会で開催する天文教育フォーラム「天文教育・普及にかかわる知見をどのように共有するか」に関して説明された。また、春季年会時に開催されるジュニアセッションに合わせて、主として高校教員・高校生に向けた講演会を開催予定であることが報告された。講師紹介プログラムは 5 件の紹介を行ったこと、監修者紹介プログラムは 1 件の申請があったが、取り下げられたことが報告された。天文学会による監修を希望する申請があった場合の対応について確認した。IAU OAE（教育のための天文学推進室）の天文教育コーディネーター（NAEC）日本チームの活動状況が報告された。

### III-6. 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告（資料 12、野村）

名古屋大学で開催した 2023 年度秋季年会のアンケート結果を受けた、年会ハイブリッド開催タスクフォースの検討について報告された。2024 年春季年会で行う開催形態の結果を見つつ、議論を継続することとした。

### III-7. 日本天文学白書に関する検討ワーキンググループ中間報告（資料 13、石川）

前回代議員総会（2023 年 9 月 21 日）の提案者に専門分野を考慮した上で、メンバーを増員し、ワーキンググループを発足したこと、「日本天文学白書」のあり方、会員全体集会での報告方法、委員と著者の決定方法などを議論していることが報告された。

### III-8. PASJ 編集委員会からの報告（資料 14、安東）

OUP 社の請求システム変更に伴う掲載料請求トラブルが生じたこと、Read&Publish 制度に関して TENNET で周知したことが報告された。PASJ は黒字が継続していることを受け、掲載料サポートを検討していることが報告された。

III-9. 「現代の天文学」について（資料 15、勝川）

第 2 版の刊行、英語版の刊行状況に関して報告された。第 2 版刊行決定に際し、2018 年に第 18 巻として「アストロバイオロジー」を刊行することが決定している。当時は天文教材委員会（2020 年解散）が担当予定であったが、天文教育委員会が引き継ぐ可能性を今後検討する。

III-10. 代議員総会（2024 年 1 月 15 日開催予定）の議題の確認（資料は画面提示、勝川）

議題として、2024 年度事業計画・予算案、各賞の受賞者の承認・決定、が予定されていることを確認した。

III-11. 次回理事会・代議員総会日程（資料なし、勝川）

2024 年春季年会と同時に開催する理事会は 2024 年 3 月 8 日（金）15 時 30 分から、代議員総会は 2024 年 3 月 9 日（土）10 時 30 分から、いずれも完全オンラインで開催する予定である旨が報告された。

III-12. 事務所の近況（資料なし、佐藤）

特に変わらないことが報告された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2023 年 9 月 19 日）議事録（案）

資料 3 加入者・移籍の承認、退会者報告（2023 年 9 月 12 日—2023 年 12 月 12 日）

資料 4 公益社団法人日本天文学会 2024 年度（2024 年 4 月 1 日—2025 年 3 月 31 日）事業計画書

資料 5-1 から 11 収支予算書（案）2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

資料 5-12 収支予算書内訳表（案）2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

資料 6 ネットワーク委員会委員長の変更とネットワーク委員会の今後の活動について

資料 7 衛星設計コンテスト推進委員の変更について

資料 8 年会実行委員会活動報告

資料 9 天文学会で活動するワーキンググループ等

資料 10 第 8 期日本天文学会代議員選挙 開票結果報告

資料 11 天文教育委員会、前回理事会以降の活動報告（2023 年 12 月 19 日現在）

資料 12 年会ハイブリッド開催タスクフォースの報告

資料 13-1 日本天文学白書検討ワーキンググループ中間報告書

資料 13-2 「日本の天文学白書」作成とそれに向けた委員会設置、及び定期的全体集会の開催について（日本天文学会代議員会提案、2023 年 9 月）

資料 14 PASJ 編集委員会からの報告

資料 15 「シリーズ現代の天文学」第 2 版と英語版の状況

2023年12月27日

会 長：井田 茂 印

副会長：野村 英子 印

副会長：百瀬 宗武 印

監 事：松尾 宏 印

監 事：山田 亨 印